

今年はいのしし

亥

年です



勢いある一年となりますように

左上の写真は山五十川歌舞伎の演目の一つ「仮名手本忠臣蔵」の五段目に登場するイノシシです。殿中で刃傷沙汰（にんじょうた）が起きたとき、主君のお供でありながら、館を離れていて駆けつけられないという大失態を犯した早野勘平。切腹してわびようとしたのですが、後に妻となる恋人に説得され思いとどまり、猟師として暮らしています。

目が保存・継承されていて、毎年、春と秋に一つずつ上演されます。次にこの演目が上演されるのは数年先になりそうです。勘平がその後どうなるかは、ぜひ舞台をご覧ください。

「猪突猛進」という慣用句があります。周囲の人のことや状況を考えずに、一つのことに向かって突き進むことを言って、あまり良い意味では使われない言葉です。しかし、勘平の鉄砲に狙われたイノシシは、猛烈な勢いで山を駆け抜け難を逃れました。困難に直面したときや、何かをやり遂げようとするときは、イノシシにあやかって突き進むことも大切なかもしれません。

今年が皆さんにとって勢いのある良い年となることをお祈りいたします。

山五十川歌舞伎には現在20の演



イノシシ役をしてくれた 三浦由快 君（あつみ小2年）
新年の抱負はスポーツ少年団でバスケットボールを頑張ることです